

授業科目	中級日本語				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	林 裕二										
授業概要	基礎的な日本語を学び終えた学生を対象に、四技能（聞く・話す・読む・書く）を総合的に伸ばすための授業を行う。具体的には、まず、テキストをベースに語彙や文法を学びながら、様々な文章を読む。その上で、自らの意見を話したり書いたりする時間も設ける。授業時以外でも日本語の学習ができるよう、自宅でできる課題も課す。小テスト、レポート提出と口頭発表を毎回行う。										
授業形態	講義	授業方法	復習として音読練習後に、オンラインの音声入力を利用して、聞き取り、文字化したものを出した課題を、チェックします。それを授業で解説します。グループ学習（ペア学習）、ディベートで運用能力を高めます。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の基礎的な文法や語彙を正確に理解し運用できる。 2. 中級レベルの類似した表現について、その違いを理解しよりの確に表現できるようになる。 3. 語彙を増やし、日本語で豊かな表現ができるようになる。 <p>中級レベルの日本語を理解し、実際にそれらを運用することができる。</p>										
理想的レベル	中級から中上級レベルの日本語を深く理解し、実際にそれらを運用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	50%										
小テスト	15%										
レポート	20%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	15%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T012002J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予習・復習										1	
授業計画											
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・日本語能力の確認 										
第2回	健康										
第3回	少子高齢化										

第4回	コミュニケーション
第5回	慣習・風習
第6回	大学生活
第7回	社会保障
第8回	少年・若者
第9回	雇用・労働
第10回	ボランティア
第11回	都市と地方
第12回	食糧問題
第13回	日本の社会生活
第14回	環境問題
第15回	まとめ
テキスト	<p>学ぼう！にほんご 中上級 編者 日本語教育教材開発委員会 出版年：2009年 出版社名： 専門教育出版 商品コード： 488324449 ISBNコード： 9784883244492 *必要に応じて授業中にプリントも配布する</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	本学図書館にある日本語関係の図書
課題に対するフィードバックの方法	音声課題をオンラインの音声入力を利用して聞き取り、文字化したものを提出してもらいます。それをチェックします。授業で返却して解説します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>「初級日本語」で学習した日本語を確実に身につけていること</p> <p>毎回出される授業外の課題に取り組むことで、日本語の能力がさらにアップします</p>